

「メッセウイングみえ」について

1 「メッセウイングみえ」の概要

「メッセウイングみえ」は、中小企業者の新製品・新商品・新技術の研究開発および研究者・技術者の交流事業を支援し、開発された新製品等の展示、見本市等を通じ、県内産業の活性化を図ることを目的に、平成5年度に(財)三重県産業振興センターにより整備されました。

平成15年度には、(財)三重県産業振興センターが(財)三重県産業支援センターに統合され、現在、(財)三重県産業支援センターが所有、運営しています。

【施設概要】

所在地	津市北河路町19-1	敷地面積	62,922 m ²
建物	鉄筋コンクリート造	一部鉄骨2階建	延床面積 8,570 m ² (1階 6,377 m ² 、2階 2,193 m ²)
土地ならびに建物所有者	(財)三重県産業支援センター		
主な施設	展示ホール、研修室、会議室、ギャラリー		

【建設費負担】

総建設費	約 88 億 5700 万円	うち高度化資金借入れ	約 65 億 800 万円 (平成25年度償還完了予定)
うち県負担額	約 48 億 1600 万円	(高度化償還、補助金)	
市負担額	約 34 億 4100 万円	(高度化償還、補助金)	
国、地元	約 6 億円		

2 「津市拠点スポーツ施設エリア構想(案)」について

津市におけるスポーツ施設は小規模で老朽化しているものが多く、市レベルや県レベルなど大きな大会に対応できる施設が少ないなど多くの課題を有しているため、新たな施設の配置や移転整備を進めて、地域スポーツの核となり大規模な大会等が開催可能な3つの拠点を配置することとされています。

その一つである「メッセウイングみえ周辺地域」において、メッセウイングみえをサブアリーナとしてリニューアルし、現在のメッセウイングみえが有する展示場やコンベンションホール等の多目的な機能を残すとしています。

また、併設して観客席を有するメインアリーナ、屋内プール、武道場、多目的ルームを新たに建設するとされています。

3 三重県としての対応

「津市拠点スポーツ施設エリア構想(案)」に関連して、津市から三重県に対し、「メッセウイングみえ」を活用して、現状の産業展示機能等を残しつつ、多目的に利用できるスポーツ施設として整備をしたいとの相談を受けています。

「メッセウイングみえ」の整備にあたっては、県・市の負担の他、国、産業界等の支援も受けていることから、産業展示等、産業振興のための機能の維持は必要と考えています。

今後、施設の所有者である(財)三重県産業支援センターなど関係者や、庁内関係部の意見も踏まえながら、同施設の取り扱いについて津市と協議を進めてまいります。

【参考：運営状況】

メッセウイングみえは、平成21年度より(財)三重県産業支援センターから民間機関へ指定管理に準じた形で委託して、運営しています。

[使用料収入ならびに施設利用率の推移]

	使用料収入(千円)	展示ホール利用率(%)	研修室等利用率(%)
H18年度	110,005	33.5	49.0
H19年度	112,454	34.8	53.8
H20年度	96,299	27.5	48.7
H21年度	91,580	25.5	53.7

[地域別利用申し込み件数]

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	合計
津市内	564	630	588	513	2,295(56%)
県内(津市除く)	191	177	192	262	822(20%)
県外	214	259	246	234	953(23%)
合計	969	1,066	1,026	1,009	4,070(100%)

[大規模修繕経費 (三重県と津市で財源折半)] (単位：千円)

H19年度	H21年度	H22年度(予算)
48,820	28,880	44,290

全 員 協 議 会 事 項 書

平成22年10月5日

スポーツ文化振興部

- 1 津市拠点スポーツ施設エリア構想（案）について

津市拠点スポーツ施設エリア構想（案）について

1 趣旨

本市におけるスポーツ施設については、合併前の施設を引き継いだ経過もあり、施設数が多く効率的な管理ができない、小規模なものが多い、老朽化した施設が多い、市レベルや県レベルなど大きな大会等に対応できる施設が少ないなど多くの課題を有しています。

そのため、津市スポーツ施設整備基本構想において、それぞれの施設の位置付けや施設内容に応じて、地域の核となる施設、大会等が可能な拠点となる施設として、維持改修や施設の統廃合、新たな施設の整備などを行っていくこととしています。

そこで、大規模な大会等が可能な拠点スポーツ施設については、既存施設の有効活用を図るとともに、幹線道路の結接点などに新たな施設の効率的・効果的な配置や移転整備を進めることにより3つの拠点を配置します。

これらが相互に連携することで、例えば大会時のメイン会場、サブ会場やエリアを周るマラソンコースの設定などさまざまなスポーツ大会や各種イベント、日常的なスポーツ・レクリエーション等の活動の場となる津市拠点スポーツエリアの形成を目指します。

2 各拠点の概要

(1) 「屋内スポーツ」センター拠点

(メッセウイング・みえ周辺地域)

津インターチェンジや幹線道路からの津市のランドマークとなり、日常的な集客が図れる屋内スポーツの中心となる拠点の形成により、中心市街地、津なぎさまちと連携した新都心軸の一翼を担います。

ア メッセウイング・みえを活用し、スポーツが可能な施設としてリニューアルを図るとともに、併設して新たな屋内スポーツ施設を建設することで、大規模な競技大会から、スポーツ・レクリエーション、健康増進を目的とした日常的な利用まで、総合的なスポーツ活動の場とするとともに、現在のメッセウイング・みえが有する展示場やコンベンションホール等の多目的な機能を有する施設としての整備を図ります。

具体的には、今後実施する「津市総合屋内スポーツ施設基本計画」の策定において検討を進めますが、既存施設（メッセウイング・みえ）を屋内スポーツ施設としても利用可能な施設として、展示ホールをサブアリーナにリニューアルし、会議室、研修室等についても有効に活用します。また、併設して観客席を有したメインアリーナ、屋内プール、武道場、トレーニングルーム、多目的ルーム等新たな施設の整備を計画するものとします。

イ 津市民プール移転後の跡地については、約1.85haの敷地と屋内プールである既存の建物等の再利用も含め、テニス等大会が開催可能な拠点スポーツ施設として再整備の可能性を調査します。

(2) 「屋外スポーツ」センター拠点

(中勢バイパス、津関線の結接点周辺地域)

津駅や中勢バイパス等、交通利便性の高い地域として、大里地区の大澤池と夢が丘団地に挟まれた、過去に民間事業者による開発計画のあったエリアにおいてサッカー場、自然地形を活用したランニングコースなどの新たな施設整備や、海浜公園内陸上競技場、津球場公園内野球場など老朽施設の移転候補地として屋外スポーツ施設等の集約化を図ることで、効率的な管理運営や大規模な大会の開催等を可能とする屋外スポーツの中心となる拠点の形成を目指します。

(3) 「屋内、屋外スポーツ」サブ拠点

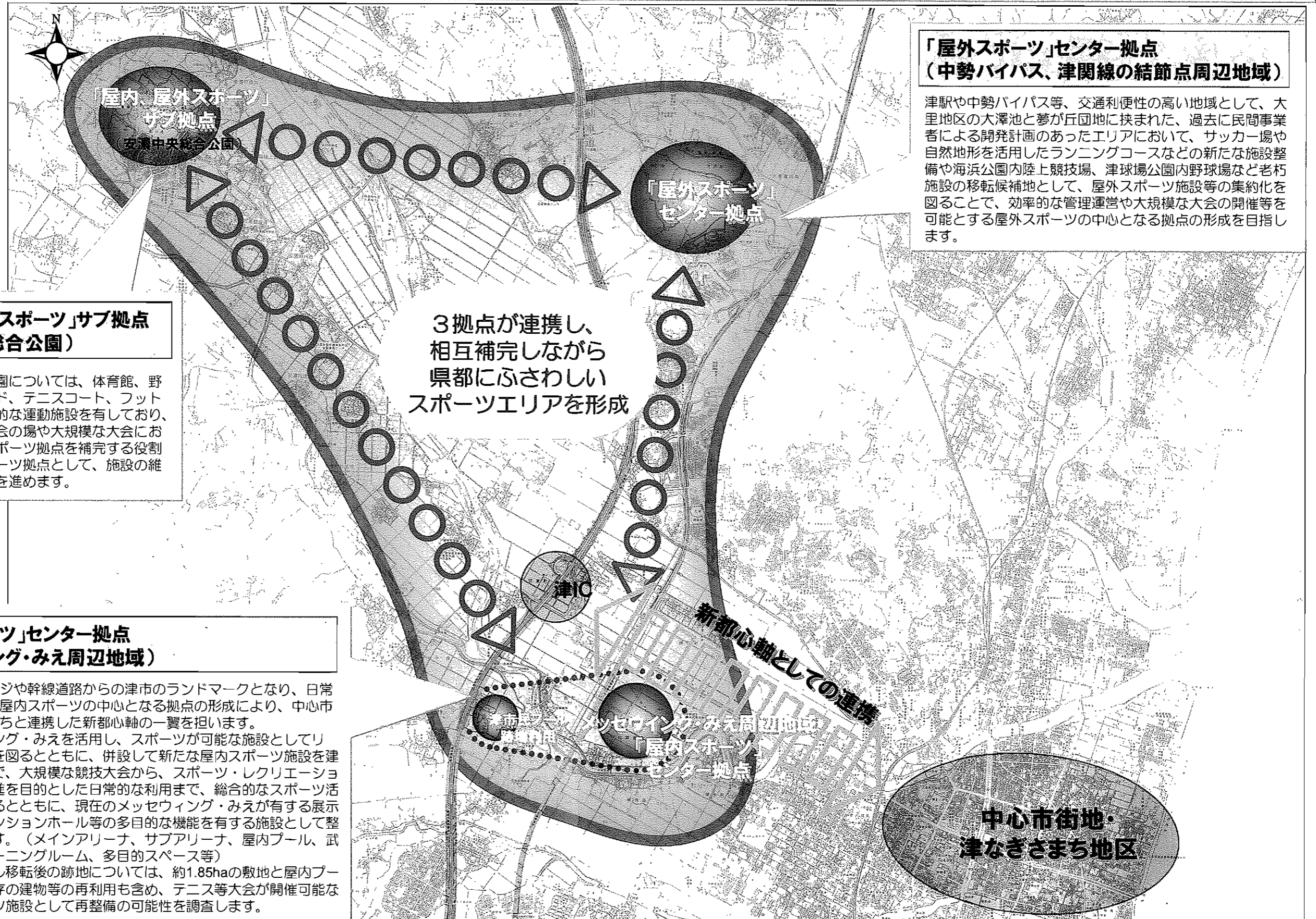
(安濃中央総合公園)

安濃中央総合公園については、体育館、野球場、グラウンド、テニスコート、フットサル場など総合的な運動施設を有しており、市レベル等の大会の場や県レベル等の大規模な大会において、2つのスポーツ拠点を補完する役割を担うサブ拠点として、施設の維持・活用や整備を進めます。

津市拠点スポーツ施設エリア構想(案)位置図

エリア形成の基本的考え方

大規模な大会等が開催可能な拠点スポーツ施設について、既存施設の有効活用を図るとともに、新たな施設の効率的・効果的な配置や移転整備を進めることにより、3つの拠点を配置します。これらが相互に連携することで、例えば大会時のメイン会場、サブ会場や、エリアを周るマラソンコースの設定など、さまざまなスポーツ大会や各種イベント、日常的なスポーツ・レクリエーション等の活動の場となる津市拠点スポーツエリアの形成を目指します。



「屋外スポーツ」センター拠点 (中勢バイパス、津関線の結節点周辺地域)

津駅や中勢バイパス等、交通利便性の高い地域として、大里地区の大澤池と夢が丘団地に挟まれた、過去に民間事業者による開発計画のあったエリアにおいて、サッカー場や自然地形を活用したランニングコースなどの新たな施設整備や海浜公園内陸上競技場、津球場公園内野球場など老朽施設の移転候補地として、屋外スポーツ施設等の集約化を図ることで、効率的な管理運営や大規模な大会の開催等を可能とする屋外スポーツの中心となる拠点の形成を目指します。

「屋内、屋外スポーツ」サブ拠点 (安濃中央総合公園)

安濃中央総合公園については、体育館、野球場、グラウンド、テニスコート、フットサル場など総合的な運動施設を有しており、市レベル等の大会の場や大規模な大会において、2つのスポーツ拠点を補完する役割を担うサブスポーツ拠点として、施設の維持・活用や整備を進めます。

「屋内スポーツ」センター拠点 (メッセウイング・みえ周辺地域)

津インターチェンジや幹線道路からの津市のランドマークとなり、日常的な集客が図れる屋内スポーツの中心となる拠点の形成により、中心市街地、津なぎさまちと連携した新都心軸の一翼を担います。
○メッセウイング・みえを活用し、スポーツが可能な施設としてリニューアルを図るとともに、併設して新たな屋内スポーツ施設を建設することで、大規模な競技大会から、スポーツ・レクリエーション、健康増進を目的とした日常的な利用まで、総合的なスポーツ活動の場とするとともに、現在のメッセウイング・みえが有する展示場やコンベンションホール等の多目的な機能を有する施設として整備を図ります。(メインアリーナ、サブアリーナ、屋内プール、武道場、トレーニングルーム、多目的スペース等)
○津市民プール移転後の跡地については、約1.85haの敷地と屋内プールである既存の建物等の再利用も含め、テニス等大会が開催可能な拠点スポーツ施設として再整備の可能性を調査します。

3拠点が連携し、相互補完しながら県都にふさわしいスポーツエリアを形成

中心市街地・津なぎさまち地区